

平成24年度総会

と き 平成24年4月1日(日) 15時00分

と ころ 富山第一ホテル

富山県ソフトテニス連盟

平成 24 年度 総会議題

1. 会長挨拶
2. 表彰
3. 本部評議員会・東日本連盟総会報告
4. 北信越連盟会議報告
5. 協議事項
 - (1) 平成 23 年度事業報告
 - (2) 平成 23 年度事業報告(案)
 - (3) 平成 24 年度事業計画(案)
 - (4) 平成 24 年度事業計画(案)
 - (5) その他

2. 表 彰 (敬称略)

1. 平成 23 年度(財)日本ソフトテニス連盟表彰

- 支部功労者 牛塚 松 男 (富山県ソフトテニス連盟・副会長・射水市ソフトテニス協会)
山 浦 尚 (富山県ソフトテニス連盟・副会長・YKK)

○ 全日本ランキング表彰

種 別	順位	氏 名	所 属
総合女子	6位	東海あかね	日本体育大学 (高岡西卒)
シングルス U-20 女子	3位	徳川愛実	(株)タカギセイコー
女子シングルス	5位	徳川愛実	(株)タカギセイコー
大学女子	1位	東海あかね	日本体育大学 (高岡西卒)

2. 平成 23 年度富山県ソフトテニス連盟表彰

富山県ソフトテニス連盟表彰規定 (抜粋)	
第1条	連盟の発展並びに活動に顕著な貢献をした者、大会等において顕著な成績を残した者を対象に以下の通りと表彰する。 1. 功労者表彰 2. 優秀選手(指導者、団体を含む)表彰 3. 年間ランキング表彰
第2条	功労者表彰は、多年にわたり当連盟の発展並びに活動に顕著な貢献をした者に贈る。 1. 本賞は賞状並びに記念品とする。 2. 本賞は以下に定める事項に該当するものを対象者とする。 (1) 奥井賞(特別表彰): 会長、副会長、理事長として通算10年以上在職し、特に功績顕著と認められる者。ただし、この表彰は1回限りとする。 (2) 感謝状: ① 顧問を除く役員として通算10年以上経過し、特に功績顕著と認められる者。ただし、この表彰は1回限りとする。 ② 当連盟の競技力の向上に顕著な貢献したと認められる者 (3) 上記事項と同等の功績と認められる事由がある者
第3条	優秀選手表彰は、当該年度の大会等において顕著な成績を収めた者に贈る。 1. 本賞は賞状並びに以下に定める激励金とする。 2. 本賞は以下に定める事項に該当するものを対象者とする。ただし、国体は除く。 (1) 特別優秀選手: アジア競技大会、東アジア競技大会、世界選手権大会、アジア選手権大会に日本代表として出場し、優秀な成績を収めた選手及び指導者【激励金3万円】 (2) 優秀選手: 日本ソフトテニス連盟主催及び共催大会において、優勝した団体または選手及び指導者【激励金2万円(団体の場合は5万円)】 (3) 優良選手: 日本ソフトテニス連盟主催及び共催大会において、ベスト4以上の成績を収めた団体または選手【激励金1万円(団体の場合は3万円)】 (4) 上記事項と同等の功績と認められる事由がある者
第4条	年間ランキング表彰は、別に定める当該年度の大会等におけるポイント上位者(第3位まで)に贈る。
第5条	本賞の決定は理事会において行う。ただし、理事会において受賞該当者がいないと認められたときは、その年度の賞は贈らない。

○ 優秀選手表彰

(1) 優秀選手

氏 名	表 彰 事 由
東海あかね	表彰規定第3条第2項(2)H23全日本学生ソフトテニス大会優勝

(2) 優良選手

氏名	表彰事由
タカギセイコー	表彰規定第3条第2項(3) H23 日本リーグ3位
徳川愛実	表彰規定第3条第2項(3) H23 ジュニアジャパンカップ U-20 女子2位ほか
中川瑞貴	表彰規定第3条第2項(3) H23 ジュニアジャパンカップ U-17 女子3位

○富山県ランキング表彰

種別	第1位	第2位	第3位	
小学男子	米道功貴 (庄川ソフトテニス少年団) 米道潤紀 (庄川ソフトテニス少年団)	生駒泰貴 (滑川ジュニアソフトテニスクラブ) 岩崎江右 (滑川ジュニアソフトテニスクラブ)	山本陸 (福光ソフトテニス少年団) 尾山仁哉 (福光ソフトテニス少年団)	坂下泰良 (氷見ジュニアソフトテニスクラブ) 谷内翔 (氷見ジュニアソフトテニスクラブ)
小学女子	横山遥香 (小杉ソフトテニスクラブ) 山岸亜未 (小杉ソフトテニスクラブ)	澤田比奈 (小杉ソフトテニスクラブ) 井川愛理 (小杉ソフトテニスクラブ)	住田菜々花 (WING射水少年団) 湊江吏子 (WING射水少年団)	湯浅玲奈 (おやべソフトテニス少年団) 吉田彩乃 (おやべソフトテニス少年団)
中学男子	早川太一 (南砺市立城端中学校) 谷村健太 (南砺市立城端中学校)	荒木彰吾 (射水市立小杉南中学校) 山内怜 (射水市立小杉南中学校)	伊藤幹 (高岡市立高陵中学校) 羽岡隆平 (高岡市立高陵中学校)	山崎貴道 (射水市立小杉中学校) 焼田郁弥 (射水市立小杉中学校)
中学女子	大井樹来 (南砺市立城端中学校) 西村幹子 (南砺市立城端中学校)	細口泰葉 (氷見市立北部中学校) 大浅玲奈 (氷見市立北部中学校)	宮越稀愛 (氷見市立北部中学校) 村井琴音 (氷見市立北部中学校)	山下和泉 (南砺市立城端中学校) 細川栞 (南砺市立城端中学校)
高校男子	南部藍良 (富山県立高岡商業高等学校) 水内哲生 (富山県立高岡商業高等学校)	中川和貴 (富山県立高岡商業高等学校) 岩田将司 (富山県立高岡商業高等学校)	榊勇人 (富山県立高岡商業高等学校) 前田暁人 (富山県立高岡商業高等学校)	石田光 (富山県立高岡商業高等学校) 石井涼太 (富山県立高岡商業高等学校)
高校女子	中川瑞貴 (富山県立高岡西高等学校) 高畑菜侑 (富山県立高岡西高等学校)	坂野麻里菜 (富山県立高岡商業高等学校) 上野桃衣 (富山県立高岡商業高等学校)	川尻明奈 (富山県立高岡商業高等学校) 谷村まなみ (富山県立高岡商業高等学校)	平山ひかり (富山県立高岡商業高等学校) 瀬成わこ (富山県立高岡商業高等学校)

3. 本部評議会報告

平成23年度評議員会が、下記の通り、全国47都道府県代表等の評議員と本部役員等が出席し開催されました。

以下に、要旨の抜粋を記します。

☆ 第1回評議員会：平成23年6月12日（日）

会場 東京グリーンパレス（東京都内）

議題 (1) 第1号議案 平成22年度事業報告について

(2) 第2号議案 平成22年度収支決算について

☆ 第2回評議員会：平成23年10月3日（月）

会場 宇部マテ‘フレッセラ’テニスコート管理棟2階（山口国体会場）

議題 (1) 第1号議案 平成23年度第1次補正予算（案）について

- (2) 第2号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定（案）について
 - (3) 第3号議案 公益財団法人移行申請について
- ほか

☆ 第3回評議員会：平成23年12月4日（日）

会場 東京グリーンパレス（東京都内）

議題 (1) 平成24年度事業計画案及び収支予算案等について

以下に詳細を記載

平成24年度事業計画

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則の制定

- (1) ソフトテニス競技（ダブルス・シングルス）を実施するために必要な競技規則を定めることを目的として、ソフトテニスの振興と競技性の向上等、より安全に楽しく競技できるよう必要に応じて検討を行い改訂しソフトテニスハンドブック（競技規則・審判規則・大会運営規則）やジュニア審判マニュアルに反映を図る。
- (2) 日本で発祥した競技であることから、国際ソフトテニス連盟（以下ISTF）やアジアソフトテニス連盟（以下ASTF）における中心的なリーダー国として国際競技規則との整合性を図ると共に、英語版審判技術マニュアル(DVD)等を活用して国際普及の推進を図る。

2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

- (1) 国内競技会を大会実施要項に基づき、別表のとおり実施する。

①平成24年度大会日程および会場【別表参照】

②大会要項の改訂

ア. 国民体育大会

- ・監督は、平成24年度より公認スポーツ指導者とすることを義務づける。
- ・監督は、選手と兼ねることはできない。
- ・成年男子の監督は、他の種別の監督が兼ねるものとする。

イ. 全国小学生大会

- ・6年生の部にシングルス種別を追加する。
- ・参加数は、各都道府県より男女各2名以内とし、1名2,000円の参加料とする。

ウ. 都道府県対抗全日本中学生大会

- ・参加数各都道府県より男女各2名（開催県4名）以内の個人戦（シングルス）の種別を追加し、個人戦（ダブルス）の参加数を各都道府県男女4ペア（開催県8ペア）以内から3ペア（開催県6ペア）以内に変更する。
- ・個人戦の試合方法を、7ゲームから5回戦までを5ゲームとし準決勝から7ゲームに変更する。

エ. ハイスクールジャパンカップ

- ・各都道府県より男女1名の参加数で、平成25年度よりシングルスを導入する。

オ. 日本スポーツマスターズ

- ・参加料を1チーム36,000円から60,000円に改訂する。

＊韓国より参加の要請があり、(公財)日本体育協会と調整中

- (2) 大会の検討と大会運営の改善

- ①全日本選手権大会の検討
 - ・NHK放送を考慮した会場の基準や進行等を工夫して「するスポーツ」と「見るスポーツ」双方を向上させるための検討を継続して行う。
- ②全日本団体選手権大会の検討
 - ・団体総合選手権大会の創設や実業団、クラブの団体対抗大会のあり方について検討し、方向性を決定する。
- ③国民体育大会の出場枠の検討
 - ・国民体育大会の種別参加数の増加についてシングルス導入を含めて検討を行い、(公財)日本体育協会との調整を図る。
- ④日本マスターズの充実
 - ・日本マスターズ大会参加者の負担軽減等を行い、全都道府県の参加を目指し大会の充実を図る。
 - ・平成24年度から、参加支部に対し100,000円を助成する。
- ⑤大会参加申込のシステム化
 - ・平成24年度から主催大会の参加申込をシステムを利用して行い、参加資格のチェック等による事務負担の軽減と参加申込の効率化を図る。
- ⑥主催大会開催地への支援
 - ・主催大会を主管し、実質的に運営している開催地の運営状況等を的確に把握し、主要事業である大会が円滑に運営されるように支援する。
- ⑦主催大会における大会運営マニュアルの活用と役割分担の明確化を図る。
 - ・競技、審判、広報等大会運営マニュアルを活用し、円滑な大会運営と日本連盟と主管支部の大会開催にあたっての役割分担の明確化を図る。
- ⑧ゼッケンの統一化
 - ・ゼッケンの表示方法をより明確にし、統一化を図る。

3. 地域ソフトテニス大会支援

(1) 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行う。

- ①9地区選手権大会
 - ・9地区×200,000円を助成する。
- ②地区高校選抜大会
 - ・9地区×100,000円を助成する。
- ③10地区中学選手権大会
 - ・10地区×100,000円を助成する。
- ④壮年東西対抗大会
 - ・200,000円を助成する。
- ⑤超壮年東西対抗大会
 - ・200,000円を助成する。
- ⑥全日本学生同好会大会
 - ・200,000円を助成する。

4. 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援

(1) 地域グループ育成のため、次の事業を実施する。

- ①地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成
 - ・地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、各支部に対し会員

登録料から下記の率により助成する。

(一般 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%)

②支部中学校大会への補助

・47支部×@30,000円を助成する。

③支部レディース大会への補助

・47支部×@50,000円を助成する。

④ソフトテニス週間の実施

・10月の体育の日(月)を中心とした週(金曜日から木曜日)をソフトテニス週間として定め、全国で一斉にソフトテニスを楽しみアピールする。

47支部×@100,000円を助成する。

⑤ソフトテニス愛好者増加対策

・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供する等、支部が実施する愛好者増加対策事業を支援して推進する。

計画実施した支部×@100,000円を助成する。

・中学校に対して、愛好者増加を目的に機関誌を配布(年2回)してソフトテニスの情報を積極的に発信する。

・一般・社会人の大会参加増加等の愛好者増加対策を検討する。

⑥指導者バンク(地域)の活用促進

・積極的に指導者バンク(地域)を活用し、競技者育成プログラム(Step-1,2)の推進および中学校・高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者を確保・活用する。

⑦総合型地域スポーツクラブの研究

・ソフトテニス総合型地域スポーツクラブに参画するための研究を進めるとともに、必要な情報提供を行う。

⑧傷害補償制度の徹底

・制度の目的、趣旨を会員報・機関誌・ホームページ等を利用して分かり易く伝え制度活用の推進を図る。

5. ソフトテニスの広報活動

(1) メディア対策

①新聞報道の充実

・報道機関に対し、話題性のある広報を積極的に行う。

・新聞報道対応マニュアルを活用する。

②テレビ放映の充実

・平成13年から継続している全日本選手権大会のNHKテレビ放送を引き続き確保する。

・NHK,民放への積極的課題提供を図る。

(2) ホームページの運営

①ホームページ等の充実

・日本連盟ホームページおよびケータイホームページの充実と積極的活用を行う。

・日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開する。

・過去の日本連盟主催大会の映像が、いつでも見れるように新動画サイト等の活用による効果的広報を展開する。

・日本連盟ホームページを英語での閲覧を可能にして、日本のソフトテニスを広く知らしめる。

(3) 広報誌発行

- ①機関誌「ソフトテニス」の毎月発行
 - ・内容の充実と購読者の増加を図る。
- ②会員報の年2回発行
- ③大会記録集の発行

(4) ソフトテニスの歌の活用

- ・日本連盟主催事業での活用と全国各地域での普及を図る。

(5) スポーツ活動を通して環境保全ならびに青少年の健全育成を図る。

- ①大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図る。そして、スポーツをする人たち、見る人たちも平等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切にす生活習慣を徹底する。
 - ・連盟主催大会での横断幕・ポスター・リーフレット・プログラム等の掲出及び配布。
 - ・大会会場での資源ごみの分別推進。
 - ・マイボトルの推進。
 - ・スポーツと環境保全シンポジウム等、会議への積極的参加。
- ②スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進
 - ・スポーツ活動を通して青少年の自己責任やフェアプレーの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育てる青少年の健全育成に取り組む。
 - そしてソフトテニスが誰にでも誇れる格調高い競技を目指す。
 - *「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動の推進
 - ・マナーキッズプロジェクト（NPO）と連動し、ショートテニスを通じて日本の伝統的な礼法を体験させ、<体・徳・知>バランスのよい子供を育てる。

6. ソフトテニスの表彰・顕彰

(1) 各種表彰を次のとおり行う。

①国内関係表彰

- ・以下の区分により国内表彰を行う。
 - ア.本部功労者
 - イ.支部功労者
 - ウ.優秀監督および優秀選手
 - エ.優良団体
 - オ.ランキング選手
 - カ.国内大会入賞者

②国際大会入賞

- ・現行の表彰基準により実施する。

③特別表彰

- ・将来を担うジュニアの指導に日頃から携わっている指導者の表彰を行う。

7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定

(1) 技術等級制度規程に基づき、次の事業を実施する。

①名誉指導員の認定

②技術等級の認定（大会実績、検定会）

- 特に検定会による取得の促進を図る。

- ③技術等級システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進と、大会申込システムとの連動を図る。
- ④技術等級資格取得者増大するため、大会参加条件の見直しを図る。
 - ・認定基準等制度の周知、徹底を図り、多くの会員に取得させるよう努める。

8. ソフトテニスの審判員資格認定

(1) 公認審判員規程に基づき、次の事業を実施する。

- ①マスターレフェリーの認定（50歳以上）
- ②マスターアンパイヤーの認定（50歳以上）
- ③1級審判員検定会・研修会の実施
 - ・検定会2回（東西）、研修会8回（各ブロック）を開催する。
- ④1級審判員の認定（新規、更新）
 - ・審判員の資質向上を図るため、1級審判員を新規（検定会）に養成するとともに、6年の更新（研修会）により継続的に推進する。
- ⑤2級審判員の認定（新規、更新、ジュニア審判員からの移行）
- ⑥ジュニア審判員普及の促進（小学生と中学生を対象とする）
 - ・ジュニア審判員の制度等について周知し、資格取得者の増加を図る。
 - ・ジュニア審判員資格者に「ジュニア審判マニュアル」を配布し、ジュニア審判員の資質の向上を図る。
- ⑦派遣審判員の実施
 - ・日本連盟主催大会に主管支部の所属ブロックから審判員を派遣し、審判員技術と資質の向上を図る。
- ⑧審判技術DVDの活用
 - ・日本連盟で作成したDVDを審判技術向上のために積極的に活用する。
- ⑨国際公認審判員の日本国内での認定を実施する。
- ⑩審判認定システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進と、大会申込システムとの連動を図る。

9. ソフトテニス用具・用品、施設認定

(1) 愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう用具・用品、施設の公認に関し、次の事業を行う。

- ①新規公認・更新手続きの承認
- ②ラケットの証紙、ネットの証布の発行
- ③競技者に分かりやすいユニフォーム等着用基準の見直しを図る。
 - ・商品公認

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査

(1) 競技力向上

*世界No.1の競技力の維持を目指した競技力向上に関し、次の事業を実施する。

- ①競技者育成プログラムの推進
 - ・一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させる。
 - Step-1,2 47都道府県で強化を実施

〈各支部に対して、400,000円を助成する。〉

- Step-3 8ブロックで強化合宿兼選考会を実施
〈8月下旬～9月上旬予定〉
 - Step-4 宮崎市で強化合宿兼選考会及びジュニアジャパンカップを実施
〈11月23日（金）～26日（月）〉（予定）
 - Step-5 全日本U-14,U-17,U-20として強化合宿を実施
 - ・一貫指導システム確立のための指導理念、指導法ならびに指導内容の検討
 - ・競技者育成プログラムを推進するために指導マニュアルを活用して推進する。
 - ・「指導教本」「コーチ教本」「指導マニュアル」「DVD世界に飛ばたけトッププレーヤーへの道」の更なる検討そして改訂を継続して行う。
- ②ナショナルチーム及び日本代表チームの強化合宿
- ・男子、女子とも年6回の強化合宿を実施する。
- ③全日本U-14、U-17、U-20の強化合宿
- ・男子、女子とも年2回～3回の強化合宿を実施する。
- ④競技力向上のための海外遠征
- ・次の国際大会へ選手を派遣し、競技力の向上を図る。
 - ①第7回アジア選手権大会(中華台北・嘉義市)
 - ②第20回日・韓・中ジュニア交流競技会(韓国・光州市)
 - ③第11回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会(中国・未定)
 - ④第9回ハンガリー国際大会(ハンガリー・ブダペスト)
 - ⑤第10回中山杯国際大会(中華台北・台中)
 - ⑥農協杯2012国際大会(韓国・未定)
- ⑤強化スタッフの各種大会視察
- ・全日本選手権大会等の視察を実施する。
- ⑥競技力向上のための調査・研究
- ・世界No.1の実力を維持するための戦略をたてる。
- (2) 医科学研究調査
- ①医科学スタッフによるサポート及びトレーナーズテントの設営を実施する。
- ・シングルス・混合ダブルスの強化対策を実施する。
 - ・陣形に応じた対応策を研究する。
 - ・国内大会での撮影及び映像分析、国際大会における戦術分析をする。
- ②各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てる。
- ③医科学研究結果を機関誌、ホームページにより報告し、指導現場に役立てる。
- (3) アンチ・ドーピング
- ①アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動
- ・(公財)日本アンチ・ドーピング機構と連携して、強化合宿等への講師派遣や大会参加者へ資料配付等ドーピング防止の普及啓発活動を実施して、スポーツの公平性を競技者に理解させ健全な精神の育成を図る。
- ②国内大会におけるドーピング検査の実施
- ・全日本選手権大会、全日本シングルス選手権大会等で実施する。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1) 指導者養成

①指導者養成事業の推進

- ・指導者養成講習会（各都道府県連盟）を「公認スポーツ指導者養成マニュアル」を活用して積極的に実施し、公認スポーツ指導者の拡大を図り、地域の普及活動を充実させる。
 - ・公認スポーツ指導者の活用方法の検討を行う。
 - ・公認スポーツ資格取得者を対象とした資格更新のための研修会を実施する。
 - ・中・高等学校指導者育成のための方策を検討する。
 - ・「指導教本」、「コーチ教本」、「ジュニア指導教本」の改訂作業を行う。
 - ・シングルス練習用マニュアル（DVD版）の活用を図る。
- ②全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会
- ・小学生、中学生、高校生へのソフトテニス活動における課題の改善について検討する。
 - ・競技者育成プログラムの現状を把握し、さらなる推進に向けて協議を行う。
 - ・競技者育成プログラムに関わる指導用マニュアルを活用し、一貫指導システムの構築を図る。
 - ・シングルの競技力向上及び普及促進に関する対策を検討する。
 - ・スポーツ活動を通して環境保全ならびに青少年の健全育成を推進する。
- ③指導者バンク（日本連盟）の推進
- ・指導者バンクの積極的活用を推進する。
 - ・競技者育成プログラム（Step 3, 4, 5）を推進するための公認指導者を確保する。
（日本連盟指導者バンクへの登録及び活用）
- ④指導者バンク（地域）の活用推進
- ・積極的に指導者バンク（地域）を活用して、競技者育成プログラム（Step 1, 2）の推進及び中学校・高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者を確保・活用する。
 - ・ジュニア層指導者の資格取得の促進（指導員・審判・技術等級）

III. ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

(1) 国際普及活動の推進

- ①国際組織（ISTF, ASTF）内での指導的立場に基づく国際性の向上
- ②普及対象国への指導者、選手の派遣および普及対象の選手、指導者を日本での研修受入れ
- ③ジュニア、シニア等の交流促進
- ④普及対象国への支援についての整理、調整
- ⑤用具の提供、流通の促進
- ⑥普及指導用諸教材の整理と追加作成して、普及活動に活用する。
 - ・紹介用プレゼンテーションDVD、紹介用パンフレット
 - ・技術指導DVD（基礎技術、応用技術、練習方法、競技、審判各編）、解説書等
 - ・諸規定集（ルールブック、審判DVD等）
- ⑦国際普及親善活動に結びつく、支部活動に対して「国際親善大会補助費」を助成する。

(2) 国際指導体制、審判体制の充実

- ①国際指導員制度(ASTF)の推進
- ②国際審判員制度(ASTF)の推進
- ③ISTF, ASTFのアンチ・ドーピング活動の推進
- ④国際審判員用教育DVDの作成及び活用

(3) 国際大会の開催促進

- *国際競技大会の参加種目への招致活動及び大会運営を支援する。

- ①第6回東アジア競技大会（2013年天津）の準備。
 - ②第17回アジア競技大会（2014年仁川）の準備。
 - ③第7回東アジア競技大会（2017年）・第18回アジア競技大会（2018年）への招致活動。
- (4) 国際組織（ISTF、ASTF）への活動

- ①2012年アジア選手権大会（中華台北）の運営を支援
- ②各国の協力体制、財政基盤の確立、組織運営について検討する
- ③英語版ウェブサイト（ASTFまたはISTF）の構築による国際情報発信の推進

〔各事業を推進するための組織と財政の強化〕

I. 組織と財政の強化を推進する。

1. 公益財団法人としての高い社会的信用を維持し、公益目的事業を行う。
 - ・公益財団法人移行に伴う組織体制の整備と財政運営に取り組む。
 2. 会員登録制度の推進を図る。
 - ①会員登録制度の定着および充実
 - ・制度の周知徹底を図り会員登録を定着させ、さらに推進する。
 - ②会員登録手続きの効率化
 - ・会員登録システムの活用を向上し、事務効率化を図る。
 - ・会員登録システムに連動し、審判、技術等級の認定管理を行う。
 - ・会員登録システムに連動し大会参加申込をIT化し、事務効率化を図る。
 - ・会員登録納付システムの活用による会費の早期かつ正確な納付による円滑な資金管理を推進する。
 - ③会員報の発行
 - ・会員登録料の用途及び日本連盟の情報を会員に周知する。
 - ④登録状況の把握と改善
 - ・支部別及び階層別の団体数と会員数等を把握する。
 - ・会員登録有料化からの階層別会員登録推移の検証・分析を実施する。
 3. 記念事業準備
 - ・2014年の日本ソフトテニス連盟創立90周年記念事業（1924年創立）の準備を行う
 4. 長期基本計画2012に基づく課題について計画初年度として検討し、その対策を図る。
 - ・会員証及び会員報配布を各団体へ直接送付を継続し、支部関係者の事務負担の軽減を図る。
 - ・会員登録システム担当者引継袋の利用を徹底し、登録事務引継の円滑化を図る。
- (1) アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動
- ・強化合宿等への講師派遣や大会参加者への資料配付等を実施して、アンチ・ドーピングについて競技者に分かり易く周知する。
- (2) 国内大会におけるドーピング検査の実施
- ・全日本選手権大会、全日本シングルス選手権大会等で実施する。

平成24年度 大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日 程	締切日	25年度
主 催 大 会	第7回アジア選手権大会日本代表予選会	大阪府・大阪市	5月3日(木) ~ 5日(土)	4/9	
	第19回全日本シングルス選手権大会	山形県・山形市	5月19日(土)・20日(日)	4/9	(九州)
	男子第57回・女子第56回 全日本実業団選手権大会	東京都・世田谷区他	7月27日(金) ~ 29日(日)	6/11	長崎県・佐世保市
	第29回全日本小学生選手権大会	島根県・出雲市他	8月2日(木) ~ 5日(日)	6/11	山梨県
	第40回全日本社会人選手権大会	新潟県・新潟市他	9月1日(土)・2日(日)	7/13	(北海道・東北)
	第19回JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島県・広島市	9月8日(土)・9日(日)	8/24	広島県・広島市
	第16回全日本シニア選手権大会	千葉県・白子町	9月14日(金) ~ 16日(日)	8/6	(近畿)
	第67回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	鹿児島県・鹿児島市	10月26日(金) ~ 28日(日)	9/14	茨城県・神栖市
	第26回日本実業団リーグ	京都府・福知山市	11月2日(金) ~ 4日(日)	9/10	京都府・福知山市
	第19回全日本クラブ選手権大会	千葉県・白子町	11月3日(土)・4日(日)	9/10	千葉県・白子町
	第30回日本リーグ	広島県・広島市	12月6日(木) ~ 12月9日(日)	10/12	広島県・広島市
	第58回全日本インドア選手権大会	大阪府・大阪市	25年 2月24日(日)	12/17	大阪府・大阪市
	日本リーグ入替戦	愛知県・名古屋市	25年 2月9日(土)・10日(日)	1/18	愛知県・名古屋市
	ス ポ ー ツ 業	第7回ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県・宮崎市	11月23日(金) ~ 26日(月)	9/14 (注1)
第24回都道府県対抗全日本中学生大会		三重県・伊勢市	25年 3月26日(火) ~ 28日(木)	2/12	三重県・伊勢市
第12回全国小学生大会		千葉県・白子町	25年 3月29日(金) ~ 31日(日)	2/12	千葉県・白子町
共 催 大 会	第41回ハイスクールジャパンカップ	北海道・札幌市	6月22日(金) ~ 24日(日)		北海道・札幌市
	西日本シニア選手権大会	沖縄県・沖縄市	6月30日(土)・7月1日(日)		
	第67回東日本選手権大会	山梨県・笛吹市他	7月14日(土)・15日(日)		
	第66回西日本選手権大会	佐賀県・佐賀市	7月21日(土)・22日(日)		
	全日本高校選手権大会(男子)	新潟県・新潟市	8月11日(土) ~ 14日(火)		(九州)
	全日本高校選手権大会(女子)	新潟県・新潟市	8月7日(火) ~ 10日(金)		(九州)
	全日本学生選手権大会	山口県・宇部市他	8月3日(金) ~ 8日(水)		
	第39回全日本レディース大会(個人戦)	埼玉県・熊谷市	8月5日(日) ~ 7日(火)		徳島県
	第43回全国中学校大会	山梨県・甲府市	8月17日(金) ~ 19日(日)		愛知県・一宮市
	第34回全日本レディース決勝大会(団体戦)	東京都・江東区	8月28日(火) ~ 30日(木)		東京都・江東区
	日本スポーツマスターズ2012	高知県・高知市	10月20日(土) ~ 22日(月)	8/10	福岡県・北九州市
国 際	第20回日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国・光州市	8月23日(木) ~ 29日(水)		(中国)
	第7回アジア選手権大会	中華台北・嘉義市	11月14日(水) ~ 21日(水)		
	その他	第25回ねりんピック2012	宮城県・仙台市	10月13日(土) ~ 15日(月)	

注1:北信越ブロックおよび日本連盟推薦者を除く

※諸事情により変更となる場合があります。

※上記大会では、ドーピング検査を実施する可能性があります。

1. ぎふ清流国体の開催日程について

平成 24 年度より監督は公認スポーツ指導者であることが義務付けられたため、成年男子種別の選手が監督を兼ねることは廃止し、全種別へ監督を位置づけることにした結果、大会要項のとおり監督を兼ねることとなりました。そのため試合進行が大幅に遅れることが予想されるため、開催地と協議を重ねた結果、次のとおりの日程で実施することとなりました。参加者の負担が少なく円滑な大会運営を図るため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

種 別	9 月 30 日(日)	10 月 1 日(月)	10 月 2 日(火)	10 月 3 日(水)
成年男子			瑞浪市	瑞浪市
成年女子	瑞浪市	瑞浪市		
少年男子			瑞浪市	瑞浪市
少年女子	土岐市	瑞浪市		

※同日開催の種別の監督は、進行上の支障が生じますので、兼ねないようにお願いします。

【例】①成年女子と少年女子 ②成年男子と少年男子 の監督は兼ねないこと。

2. 国体ブロック大会の監督の取扱いについて

各ブロックの国体予選につきましては、全ての種別(成年男子・少年男子・少年女子)とも監督 1 名・選手 6 名の参加人員となるように調整をよろしくお願い申し上げます。

以上

4. 東日本連盟総会報告

平成 23 年度総会が、12 月 3 日(土) 14 時 00 分から東京グリーンパレス(東京都内)において、東日本連盟加盟都道府県代表者と東日本連盟役員が出席し開催された。

以下に、要旨の抜粋を記す。

議題 1. 平成 24 年度東日本選手権大会について

○開催日時：平成 24 年 7 月 14 日(土)～7 月 15 日(日)

○開催場所：山梨県甲府市ほか 4 会場

○ゼッケン着用の義務づけ

○高校生は 2 ペア以内、各種別はフリー(一般男女は技術等級 2 級以上が必要)

○全種別とも公認審判員の資格を有すること

5. 北信越連盟関連会議報告

●第1回北信越連盟理事長会議

日時：平成23年7月3日(日)

会場：上越市（北信越選手権大会開催会場）

議題：1.北信越ブロック国体抽選 ほか

●第12回北信越連盟会長・理事長・事務局長会議（毎年1回開催）

日時：平成23年8月27日(土) 北信越ブロック国体第1日目

会場：長野市

●第2回北信越連盟理事長会議

日時：平成23年12月3日(土) 東日本連盟総会終了後

会場：東京グリーンパレス（東京都内）

以下に、要旨の抜粋を記す。

議題1. 平成24年度行事日程と開催地の確認

- ①北信越選手権大会（新潟県上越市，5/13） ※シニア種別の活性化
- ②北信越高校選手権（福井県越前市，6/16～6/17）
- ③全日本実業団リーグ北信越予選会（石川県金沢市，7/1）
- ④北信越中学選手権（長野県長野市，8/6～8/8）
- ⑤北信越国民体育大会（福井県福井市，8/25～8/26）
- ⑥競技者育成プログラム Step-3（長野県松本市，9/15～9/17）
- ⑦北信越高校インドア（石川県小松市，H25/1/19～1/20）
- ⑧北信越中学インドア（富山県富山市，H25/1/未定）
- ⑨北信越選抜インドア（長野県松本市，H25/1/20） ※変更の可能性あり

議題2. 北信越国民体育大会の審判について

下記の通り審判員を各県から派遣する審判体制として本年度も実施する

- ①派遣審判員数（開催県4名＋審判委員長，会場地以外の各県2名）計13名
 - ・当該対戦県以外の派遣審判員が正審を受け持つ。副審は開催県審判
- ②派遣審判員の資格
 - ・1級または2級の資格取得者で各県を代表する能力保持者
- ③派遣に伴う経費等
 - ・交通費及び宿泊費は各県の負担とする。宿泊，弁当は開催県が手配・負担
- ④その他
 - ・派遣審判員は監督会議までに現地集合
 - ・派遣審判員の名簿提出は参加申込み時までに開催県理事長に提出

●第3回北信越連盟理事長会議

日時：平成23年1月14日(土)

会場：石川県金沢市

議題：1.平成23年度事業報告

2.平成23年度決算報告

3.平成24年度事業計画(案)

4.平成24年度収支予算(案)

5.その他

平成24年度大会日程 (案)

大会名	開催県	開催地	開催日		記事
北信越ソフトテニス選手権大会	新潟県	上越市	24. 5. 13		
北信越高校総合体育大会 (ソフトテニス競技)	福井県	越前市	24. 6. 16	24. 6. 17	
北信越ソフトテニス実業団リーグ	石川県	金沢市	24. 7. 1		団体戦
北信越中学総合体育大会 (ソフトテニス競技)	長野県	長野市	24. 8. 7	24. 8. 8	
北信越国民体育大会 (ソフトテニス競技)	福井県	福井市	24. 8. 25	24. 8. 26	
競技者育成プログラム Step 3	長野県	松本市	24. 9. 15	24. 9. 17	
北信越高校選抜インドアソフトテニス選手権大会	石川県	小松市	25. 1. 19	25. 1. 20	
北信越中学選抜インドアソフトテニス選手権大会	長野県	松本市	25. 1. 20		団体戦
北信越選抜インドアソフトテニス選手権大会	新潟県	上越市	24. 12. 15	24. 12. 16	

- ※ 大会要項の支部送付は、原則として大会開催日の40日前までとし締切日は開催地が決定する。
(大会参加料の納入については、大会申込書の締切日までに送金するものとする。)
- ※ 開会式の開始時刻は8時30分を原則とし、都合により30前後の変更は認めるものとする。
(開始時刻を変更する場合は、大会要項に明記するものとする。)
- ※ 上記大会の広告協賛の版下は事務局が配布した版下を使用すること。(北信越中学総合および北信越国体は除く。)
大会の都合により広告(版下)を掲載しなかった場合は、大会運営補助金は支払わないものとする。
- ※ 大会運営補助金の支払い時期については、1月開催の北信越ソフトテニス連盟理事長等会議で支払います。

☆年度別大会開催予定表

北信越ソフトテニス連盟主催等
大会ローテーションおよび大会日程(案)

平成24年1月14日現在

年 度	各 種 大 会 名							
	社会人等	高校選手	実業団り	中学選手	ミニ国体	高校イン	中学イン	社会イン
24(2012)	新潟県	福井県	石川県	長野県	福井県	石川県	長野県	新潟県
25(2013)	新潟県	長野県	福井県	石川県	新潟県	長野県	石川県	新潟県
26(2014)	福井県	新潟県	長野県	新潟県	石川県	石川県	新潟県	新潟県
27(2015)	石川県	石川県	新潟県	福井県	富山県	長野県	福井県	新潟県
28(2016)	新潟県	富山県	富山県	富山県	長野県	石川県	富山県	新潟県
29(2017)	長野県	福井県	石川県	長野県	福井県	長野県	長野県	新潟県
30(2018)	富山県	長野県	福井県	石川県	新潟県	石川県	石川県	新潟県
31(2019)	福井県	新潟県	長野県	新潟県	石川県	長野県	新潟県	新潟県

参考(国体及びミニ国体開催県)

年度	国 体	国体開催市	ミニ国体
24(2012)	岐阜県	瑞浪市他	福井県
25(2013)	東京都	調布市他	新潟県
26(2014)	長崎県	長崎市他	石川県
27(2015)	和歌山県		富山県
28(2016)	岩手県		長野県
29(2017)	愛媛県		福井県
30(2018)	福井県		新潟県
31(2019)	茨城県		石川県
32(2020)	鹿児島県		富山県

国体フリー種別参加組数

開催年度	フリー組数	その他種別	記事
24(2012)	成年女子47	16	9/30~10/3
25(2013)	少年男子47	16	9/29~10/2
26(2014)	少年女子47	16	10/13~10/16
27(2015)	成年男子47	16	
28(2016)	成年女子47	16	
29(2017)	少年男子47	16	
30(2018)	少年女子47	16	
31(2019)	成年男子47	16	
32(2020)	成年女子47	16	

6. 協 議 事 項

(1) 平成 23 年度事業報告

●総務部（事務局）

1. 日本連盟関係
第1回 平成23年6月12日（東京） 出席者1名（高辻）
第2回 平成23年10月3日（山口） 出席者1名（高辻）
第3回 平成23年12月3日～4日（東京） 出席者1名（高辻）
北信越理事長会議，東日本連盟総会，日本連盟評議員会
小中高指導者講習会
平成24年2月18日～19日（東京） 出席者3名
大会申込みシステム説明会
平成24年3月17日（東京都新橋） 出席者1名（高辻）
2. 北信越連盟会議 北信越連盟関係会議報告を参照
3. 納 会 23年12月17日（砺波地区担当）：割烹ばんば（小矢部）
4. 理 事 会 第1回 23年12月17日 割烹ばんば（小矢部）
第2回 24年2月22日 富山県総合体育センター
5. 対 外 諸 会 議
○ 県体協関係会議 23年4月26日，5月19日，6月6日，8月24日
10月24日，11月10日，11月17日，11月29日
24年1月22日，3月15日
○ 北信越国体関係会議 23年8月26日
○ 山口国体関係会議 23年8月31日
○ 北信越高校関係会議 23年6月17日
○ 生涯スポーツ協議会関係会議 23年5月13日
6. そ の 他
○ 事務連絡会等 随 時
○ ホームページの更新 随 時

●強化部

1. 富山県体育協会強化事業【富山県体育協会経費補助】

《参考：富山県体育協会報告書より抜粋》

○ 強化スタッフ・選手指定事業（保険加入補助，指定証発行）

総監督 1名

少年男子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名

少年女子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名

成年男子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名

成年女子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名

○ 組織整備事業（組織強化補助：150,000円）

○ 合宿・遠征事業（競技力向上補助：4,760,000円）

○ アドバイザー招聘事業（トレーナー・片岡 淳：369,000円）

○ スポーツ道場開催事業（競技力向上補助：1,000,000円）

2. 競技スポーツ振興事業【富山県体育協会経費補助：小学生対象（200,000円）】

3. その他

○ スタッフ会議，強化練習会，近県合同練習会ほか

●競技部

※ 平成23年度の県内大会成績等については富山県ソフトテニス連盟ホームページをご覧ください。
ホームページのアドレスは，以下の通りです。

<http://www.jsta.or.jp/~toyama/>

(3) 平成 24 年度事業計画 (案)

I. 事業方針

1. 会員登録の促進【参考資料】
2. 競技力向上対策事業の実施【強化部】
 - ① 国体上位入賞のための強化事業
 - ② 北信越・東日本・全日本大会等の競技会への派遣
 - ③ 競技者育成プログラムの推進 ※参考資料
 - ④ 小学生を中心としたジュニア層の強化
3. 生涯スポーツとしての「ソフトテニス」の普及促進
 - ① 「ソフトテニスの週間」の実施
 - ② シニア層の普及・振興
 - ・ 全日本マスターズ大会への派遣助成
 - ・ シニア講習会の実施
 - ③ レディース層の普及・振興
 - ・ 富山県レディース大会への支援
 - ・ 全国大会への派遣助成
 - ④ 中学・高校生の普及と強化
 - ・ ジュニアオープン大会の開催
 - ・ 競技者育成プログラムの推進
 - ⑤ 小学生の普及と強化の促進
 - ・ 富山県小学生ソフトテニス連盟の活動支援
ジュニア競技者増加対策, 強化対策
 - ・ 全国大会への派遣助成

II. 行事日程並びに大会要項

1. 行事日程表 (別紙参照)
2. 大会要項の整備